

広告出稿のご案内

特集 ポストコロナの時代に求められる生産支援のためのデジタル技術

さまざまな課題を抱える生産現場において、デジタル技術の活用はそれらを解決する手段の一つとして期待されてきました。例えば、加工機や成形機からデータを集めて生産状況を「見える化」し、分析・活用することは、生産の効率化や品質改善、顧客サービスの向上などにつながります。昨今は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、デジタル技術を活用した遠隔での設備監視や生産立上げ、設計者や解析担当者のテレワークなども求められています。また、金型・成形分野の長年の課題である技能伝承に対しても、熟練者の勘・コツを可視化してデータに基づいた教育を実施したり、新人にも理解しやすい教育ツールをつくりと、デジタル技術の活用は大きな可能性を秘めていると言えます。

そこで、本号ではデジタル技術の活用目的を、①現場の「見える化」と生産性向上、②設備の故障予知・メンテナンス頻度削減、③技能伝承・教育の3つに分類し、それぞれを実現するための各社のシステムやサービスを紹介します。

【予定目次】

- 総論
 - コロナ禍でモノづくり向けデジタル技術に何を求めるか 日産自動車
- 事例
 - <現場の「見える化」と生産性向上>
 - ・IoT基盤「フィールドシステム」で実現する製造現場の生産性向上 ファナック
 - ・「金型ショット数管理システム」で実現する成形現場改革 平山
 - ・現場視点で開発したプラスチック成形の「見える化」ツール アスカカンパニー／アスカコネク
 - <設備の故障予知・メンテナンス頻度削減>
 - ・プレス機械のトラブルを防ぐデータ活用の取組み アイダエンジニアリング
 - ・フォーマーの安定稼働を実現する遠隔監視および遠隔操作技術 阪村機械製作所
 - ・金型加工を支援するマキノのITサービス 牧野フライス製作所
 - <技能伝承・教育>
 - ・独自AIを活用した中小製造業の上流工程の可視化・形式化 LIGHTz
 - ・匠×データ×AIを掛け合わせた機械加工最適化サービス「LAS」 山本金属製作所
 - ・クラウド動画教育システム「tebiki」による効率的な新人育成 ピナクルズ
 - ・技能伝承や人材育成に役立つ「Eduシリーズ」の特徴と導入効果 創造デザイン

広告締切日

- 広告お申し込み締切日……………8/19(水)
- データ入稿締切日……………8/24(火)
- 発売日……………9/16(木)

◆ 型技術・本文特集予定

- 11月号 金型業界での多様性～企業・大学で活躍する女性・外国人～
- 12月号 【特大号】型技術ワークショップ2021講演論文集
- 1月号 カーボンニュートラルに向けた取組み

型技術

掲載料金表

- 発行部数：30,000部
- 体裁：B5判・左開き・無線平とじ

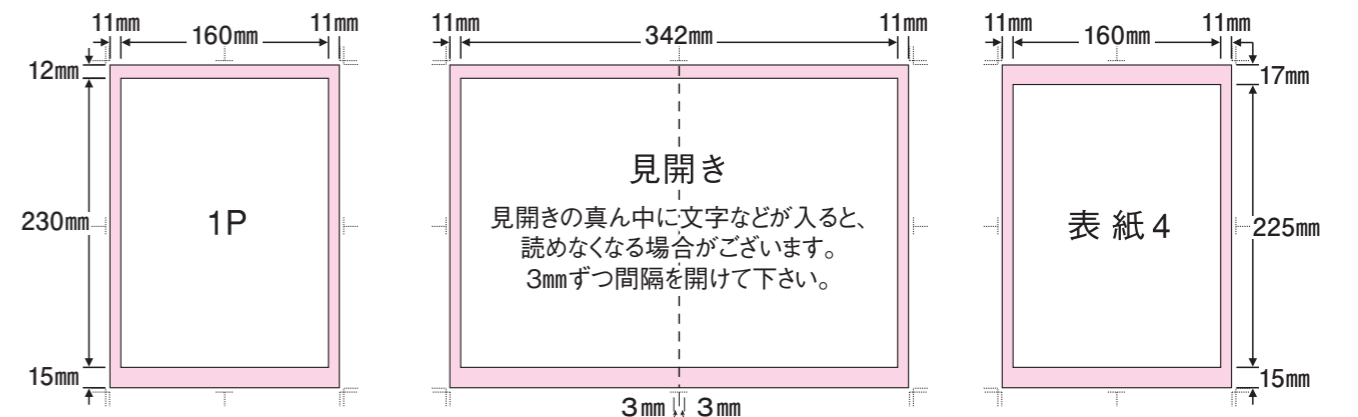
記事(1色)	ヨコ1/3	53,900 (49,000)
挿込(前付)	2	220,000 (200,000)
	4	352,000 (320,000)
挿込(後付)	2	169,400 (154,000)
	4	271,700 (247,000)

[特定頁]					[前付]							[後付]		
場	所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	場	所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	2色 (M+K)	1色 (K)	1色 (K)
表紙	1	1	693,000 (630,000)	—	—	第1頁	1	1	455,400 (414,000)	—	—	—	—	114,400 (104,000)
表紙	4	1	528,000 (480,000)	—	—	最終頁	1	1	—	—	—	—	139,700 (127,000)	89,100 (81,000)
表紙	2	1	479,600 (436,000)	—	—	普通頁	1/2	1/2	—	—	—	85,800 (78,000)	—	49,500 (45,000)
表紙	3	1	359,700 (327,000)	—	—		1	1	408,100 (371,000)	207,900 (189,000)	157,300 (143,000)	143,000 (130,000)	100,100 (91,000)	82,500 (75,000)
本文目次(奇)	1	1	455,400 (414,000)	—	—		2	2	734,800 (668,000)	374,000 (340,000)	282,700 (257,000)	257,400 (234,000)	179,300 (163,000)	148,500 (135,000)
(偶)	1	1	420,200 (382,000)	—	—		3	3	1,071,400 (974,000)	545,600 (496,000)	412,500 (375,000)	375,100 (341,000)	261,800 (238,000)	217,800 (198,000)
(下)	1/4	1/4	—	—	69,300 (63,000)		4	4	1,388,200 (1,262,000)	707,300 (643,000)	534,600 (486,000)	486,200 (442,000)	339,900 (309,000)	281,600 (256,000)
広告目次(奇)	1	1	420,200 (382,000)	279,400 (254,000)	227,700 (207,000)	※表示価格は税込金額、()内は税抜き表示です。								
広告目次(偶)	1	1	383,900 (349,000)	255,200 (232,000)	207,900 (189,000)									

◆ B5判広告スペースサイズ

▼原稿サイズ		(仕上がり寸法257×182mm)	
スペース	サイズ	普通版 天地×左右(mm)	断切版(ブリード) 天地×左右(mm)
A	表紙	4	225×160
B	1ページ	230×160	257×182
C	見開き	230×342	257×364
D	ヨコ1/2ページ	105×150	不可
E	タテ1/3ページ	225×45	不可
F	記事中ヨコ1/3ページ	65×150	不可
G	目次下1/4ページ	55×150	不可

※断切版は断ちしろ3mm加算(天地左右)



上図の様に「1頁」および「見開き(2頁)」の原稿は、「コーナートンボ」および「センタートンボ」を、1頁はB5版に、見開き(2頁)はB4版に付けて下さい。ブリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

日刊工業新聞社 出版局
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
 雑誌部 TEL 03-5644-7447
 FAX 03-5644-7405

大阪支社 ☎ 06-6946-3358
 名古屋支社 ☎ 052-931-6155
 西部支社 ☎ 092-271-5716

制作ガイド

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部 広告原稿データ 入稿仕様書

日刊工業新聞社

広告主名		
担当者	☎	()

データ制作者 記入欄

会社名	☎	()
担当者	E-mail アドレス @	

入稿メディア	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	メディア返却の有無
	<input type="checkbox"/> MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> 要返却 <input type="checkbox"/> 返却不要

仕様システム	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	● ご記入下さい
	OS Mac <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> 10.x <input type="checkbox"/>	Windows _____

出力ファイル名 (epsでの入稿推奨)	出力見本	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	(実寸1枚) <input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色 (PDF可) <input type="checkbox"/> 3色 <input type="checkbox"/> フルカラー	

フォント	フォントは全てアウトライン化して下さい (Adobe Illustrator・InDesign)
<small>※アウトライン化できない場合、使用フォント名を記載してください</small>	

※アウトライン化が出来ない場合は印刷用PDFでのご入稿を推奨いたします (X1-a形式での入稿を推奨)。
※PDF入稿の場合はトンボ及び塗り足しの処理を再度ご確認ください。

原稿タイプ	● 原稿タイプは、裏ページの「サイズ」欄を参照の上 <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G

色数	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色(マゼンダ+スミ) <input type="checkbox"/> 2色(シアン+スミ) <input type="checkbox"/> 3色(CMK) <input type="checkbox"/> フルカラー

アプリケーション	● 使用アプリケーションに <input checked="" type="checkbox"/> チェックし、バージョンをご記入下さい
	<input type="checkbox"/> Adobe Illustrator _____ ※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> Adobe InDesign _____

リンクデータ	● リンクデータに <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	<input type="checkbox"/> 埋め込み
	<input type="checkbox"/> EPS <input type="checkbox"/> TIFF <input type="checkbox"/> PSD (<input type="checkbox"/> CMYK <input type="checkbox"/> グレースケール <input type="checkbox"/> モノクロ2階調)	

オーバープリント	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------	---

ハーフトーンスクリーン	● 使用しないで下さい
-------------	-------------

ダブルトーン	● 推奨しておりません。なるべくシアン版、マゼンダ版、ブラック版にて作成下さい。
--------	--

備考：	
-----	--

入稿前にチェックしてください (再確認)

- フォントはすべてアウトライン化 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 孤立点・不要なオブジェクト等は削除 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 入稿データの保存形式は「EPS」を推奨 (ai, PDF 可) ※1.
- aiデータは保存の際「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
- カラー原稿は、CMYKで作成 (RGB、特色厳禁)
- モノクロ原稿はグレースケールで作成 (CMYK、RGB、特色厳禁)
- モノクロ画像はグレースケールまたはモノクロ2階調で作成 (CMYK画像、RGB画像は厳禁)
- 画像データは「適正解像度」にしている
- 画像の保存形式フォーマットはEPS、TIFF、PSDのいずれかにしている ※2.
- EPSオプションは「8bit/pixels」で「ASCII85」で保存している
- ドキュメント設定の透明/プリセットは「高解像度」に設定にしている
- ドキュメントのラスターサイズ効果設定は「高解像度」に設定にしている
- 赤版は「マゼンダ」で、青版は「シアン」で作成 (3色はCMK) ※3.
- 断ちトンボ(トリムマーク)は付けてある (1頁・見開き・表4の場合) ※4.
- 入稿データは、作成したバージョンのまま保存 (下位保存すると破損することがあります)
- 各データには保存形式にあった拡張子を付けている
- 画像データ等のリンクファイルは同一階層(フォルダ等)に収め、画像データのリンク漏れは無い
- 出力見本で、文字化け等の無いことは確認済
- ウイルスチェックは実施済
- オリジナルデータはバックアップ済

※1.) PDFで入稿の際は、「x1-a」形式での入稿を推奨します。

※2.) イラストレーターaiデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「PSD」を推奨します。
イラストレーターepsデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「eps」を推奨します。

※3.) 赤版は、日刊工業新聞社指定の赤を使用します。

※4.) プリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。
紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。
また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

広告原稿 入稿後の進行予定 (営業日内)

- ① 入稿日(受付時間：14時まで)に完全原稿 14時以降は翌日扱いになります。
- ② 入稿日の中2日後にプルーフ出力。
出力(プルーフ)：モノクロ・2色は1枚、3色・フルカラーは2枚。 ※表紙と表4については1枚。
- ③ 入稿日の翌々日着で、上記出力を送付[佐川急便]⇒出力確認・責了。
※上記以外の出力プルーフについては別途費用がかかります。
※再入稿した際の出力プルーフについても別途費用がかかります。

注) 締切日直前に入稿が集中しますので、余裕を持った入稿をお願いいたします。
また、弊社で入稿原稿のデータを修正することは原則ございません。

◆ その他、ご不明な点がございましたら担当者にお尋ね下さい。

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03-5644-7447 FAX.03-5644-7405